

## 8 持続可能な個性あふれるまちづくりの推進について

【国土交通省、財務省】

### 《提案・要望事項》

本格的な人口減少・高齢化社会の到来を迎えるなか、安全で暮らしやすい市街地を形成し、持続可能な個性あふれるまちづくりを推進するため、次の事項に取り組むこと。

- 1 安全で快適な都市空間を確保するための都市計画道路整備の推進、利用者ニーズにあった魅力向上に資する都市公園施設整備の推進、また市町村が進める都市再生整備計画事業など、まちづくりに必要な予算を確保すること。
- 2 狭あい道路の解消による安全な住宅市街地の形成を図るため、狭あい道路の整備に対する支援制度を延長・拡充すること。
- 3 空き家等対策に係る支援策の要件緩和や拡充を図ること。また、官民連携のリノベーションを推進するため、人材バンクの創設や普及啓発のための補助要件を緩和すること。
- 4 第36回全国都市緑化信州フェアの開催について、格段の支援をいただきたいこと。

### 【長野県内の現況・課題】

#### 1 (1) 都市計画道路について

交通の円滑化、安全な通学路の確保等が急務であり、県内28箇所でも都市計画道路等の整備を重点的に推進中であるが、必要な財源が不足し、供用開始が遅れる等の支障が生じている。

#### (2) 都市公園について

都市公園においては、個性を活かした魅力向上とにぎわいのある公園づくりが求められており、現在、県及び県内14市町村において都市公園の整備を進めているが、必要な財源確保が課題となっている。

#### (3) 市町村のまちづくりについて

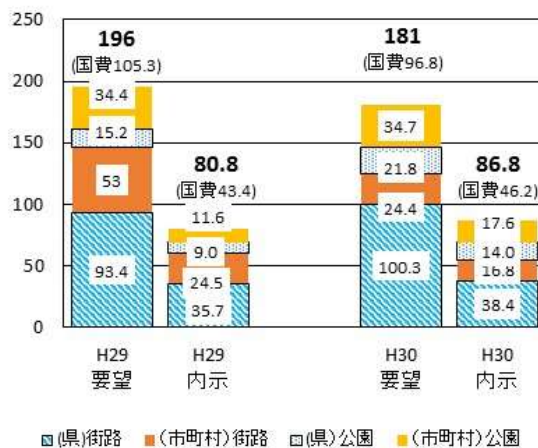
・本県では、市町村のまちづくりを支援するため公民学が連携した新たな組織「信州地域デザインセンター（仮称）」の設置検討を行っている。

・市町村のまちづくりを具体的に担う都市再生整備計画事業等は、社会資本整備総合交付金等の配分が不足しており、整備計画に基づいた事業の実施に支障をきたす恐れがある。

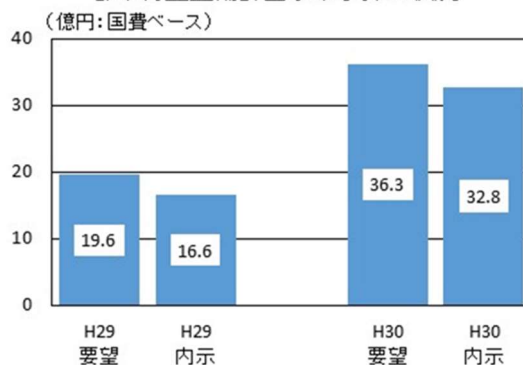
#### 2 狭あい道路整備について

狭あい道路整備等促進事業は平成30年度を期限とされているが、県内には、安全性を確保する必要性の高い狭あい道路が数多く存在しており、引き続き、国の支援が必要な状況にある。

(億円) 交付金予算の状況



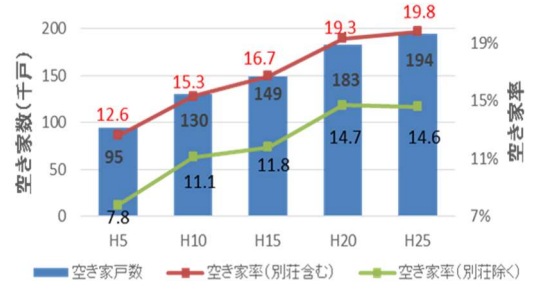
都市再生整備計画事業予算の状況



狭あい道路整備等促進事業

### 3 空き家対策について

- (1) 空き家等の増加が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。
- (2) 対策に係る国の補助金は、単年度事業費の下限額が国費ベースで1,000万円に設定されており、予算規模が小さい小規模自治体では活用が困難な状況。
- (3) 専門人材に関する情報の不足や、普及啓発事業の補助対象が全国規模のセミナーに限られていることも課題。



○県内の空き家は年々増加。平成5年からの20年間で約2倍  
 ○別荘を含む空き家率は、全国で2番目に高い

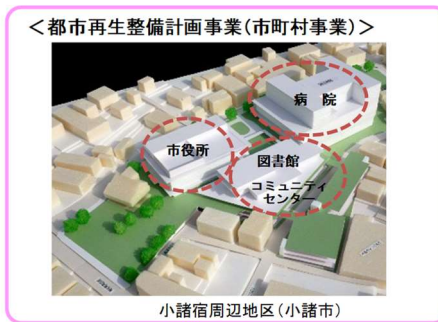
### 4 全国都市緑化信州フェアについて

第36回全国都市緑化信州フェア(H31.4.25~6.16)について、平成29年6月に実行委員会を設立し、この4月に実施計画を策定したところ。平成31年に開催するフェアの成功に向けて、メイン会場の修景を図る必要がある。

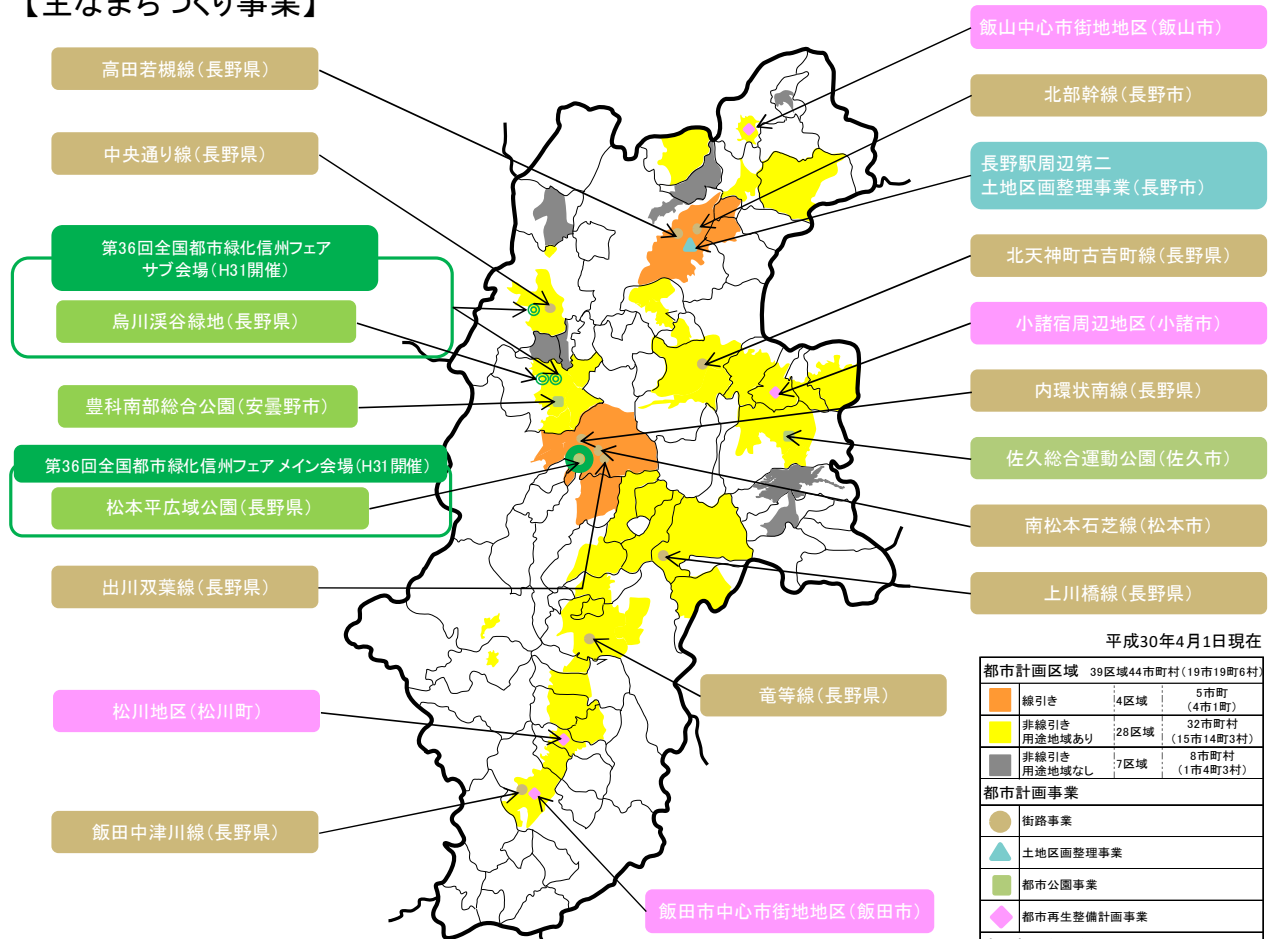
#### 【空き家対策総合支援事業】

国補助金下限 1,000万円	市町村一般財源等 1,000万円
-------------------	---------------------

市町村は最低でも年間2,000万円以上の事業を組まなければ当補助金を活用できない  
 ※H29県内活用1自治体のみ



#### 【主なまちづくり事業】



平成30年4月1日現在

都市計画区域		
39区域44市町村(19市19町6村)		
線引き	4区域	5市町(4市1町)
非線引き 用途地域あり	28区域	32市町村(15市14町3村)
非線引き 用途地域なし	7区域	8市町村(1市4町3村)
都市計画事業		
●	街路事業	
▲	土地区画整理事業	
■	都市公園事業	
◆	都市再生整備計画事業	
全国都市緑化信州フェア		
◎	メイン会場	
○	サブ会場	

(県所管部局) 建設部